

令和5年度 e・アンケートモニター
第1回アンケートNo.2 調査結果

テーマ 「山口県における多文化共生の推進について」

I 調査の概要

1 調査の目的

山口県内の在留外国人数は、令和4年12月末時点で約17,000人であり、県人口の約1.3%を占めています。長期的には増加傾向にあり、今後も県内の在留外国人数は増加することが見込まれています。

県では、多文化共生（※）による地域づくりを推進しており、令和5年度には、多文化共生を総合的・計画的に推進するため、「山口県多文化共生推進指針（仮称）」を策定します。

今後、山口県が、多文化共生を推進するにあたり、どのような施策が必要なのか参考とするため、調査を実施します。

（※）多文化共生とは：国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

2 調査実施期間

令和5年7月18日（火）～8月4日（金）

3 調査対象

令和5年度 e・アンケートモニター 107人

4 回答状況

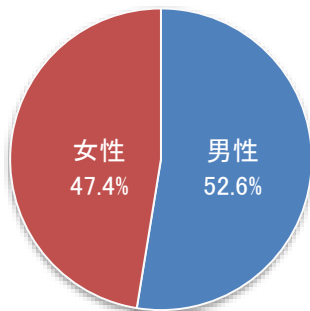
回答者 78人（回答率 72.9%）

5 調査担当課

山口県観光スポーツ文化部 国際課

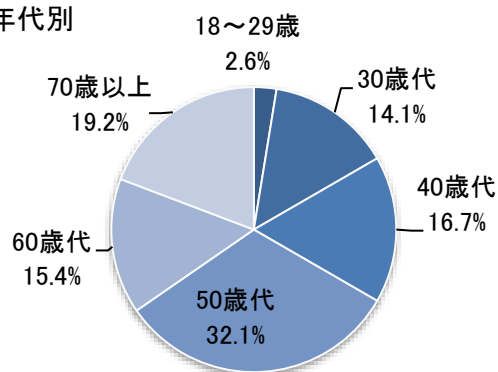
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	41	52.6
女性	37	47.4
計	78	100.0

■年代別

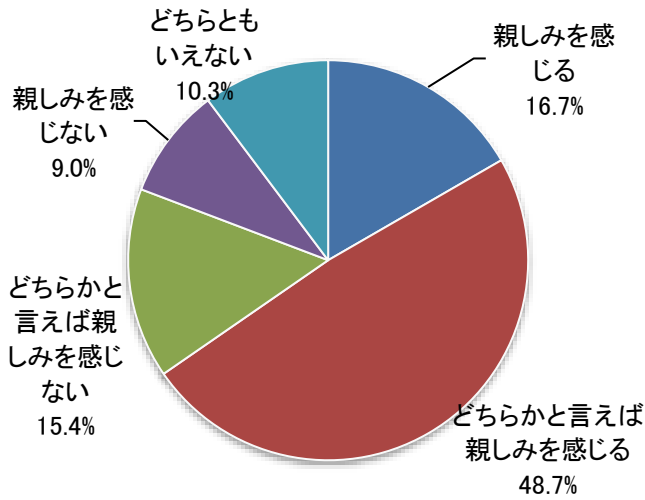


区分	人数	%
18～29歳	2	2.6
30歳代	11	14.1
40歳代	13	16.7
50歳代	25	32.1
60歳代	12	15.4
70歳以上	15	19.2
計	78	100.1

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

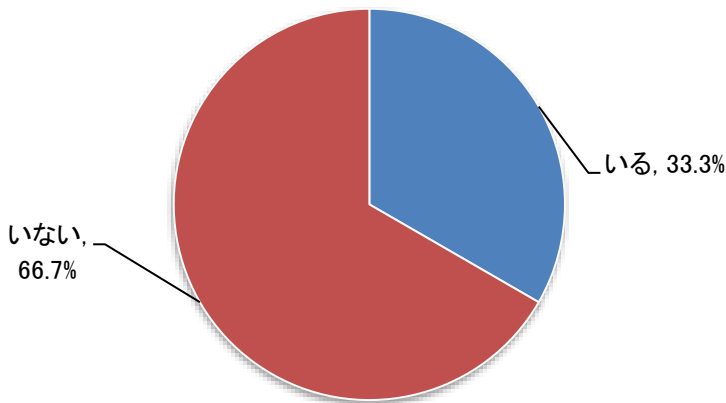
Ⅲ 調査結果

Q1 あなたは、外国人に対して、どのような印象を持っていますか。(1つのみ)



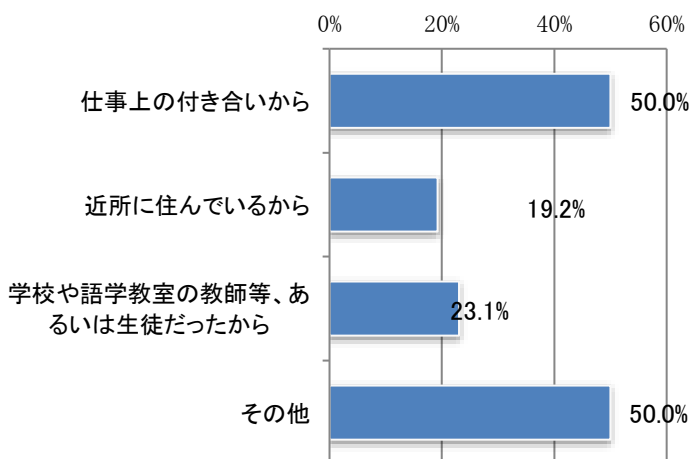
選択肢	人数	%
1.親しみを感ずる	13	16.7
2.どちらかと言えば親しみを感ずる	38	48.7
3.どちらかと言えば親しみを感ずらない	12	15.4
4.親しみを感ずらない	7	9.0
5.どちらともいえない	8	10.3
計	78	100.1

Q2 あなたは、外国人の友人や知人がいますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
1.いる	26	33.3
2.いない	52	66.7
計	78	100.0

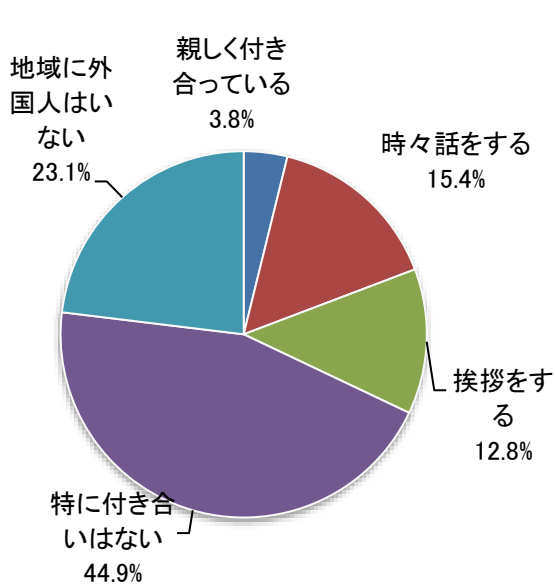
Q3 《Q2で1を選択された方》あなたが外国人の友人や知人と知り合ったきっかけは何ですか。(あてはまるもの全て)



(n=26)

選択肢	人数	%
1.仕事上の付き合い	13	50.0
2.近所に住んでいる	5	19.2
3.学校や語学教室などの教師等、生徒	6	23.1
4.その他	13	50.0

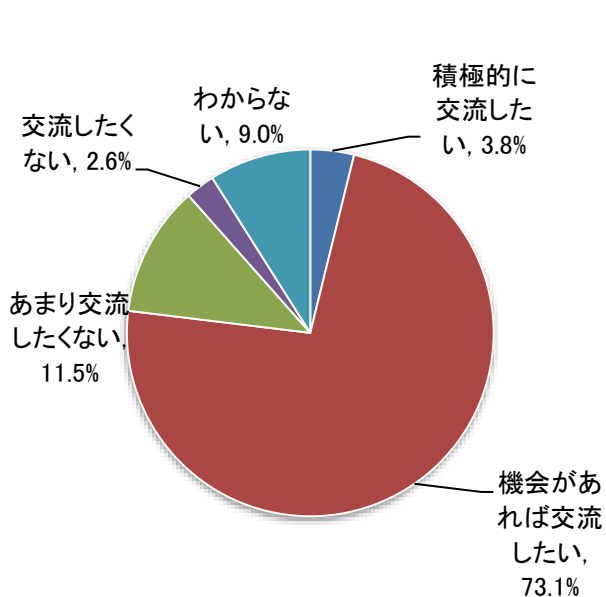
Q 4 あなたは、地域の外国人とどのような付き合いをしていますか。(1つのみ)



(n=78)

選択肢	人数	%
1.親しく付き合っている	3	3.8
2.時々話をする	12	15.4
3.挨拶をする	10	12.8
4.特に関わりはない	35	44.9
5.地域に外国人はいない	18	23.1
計	78	100.0

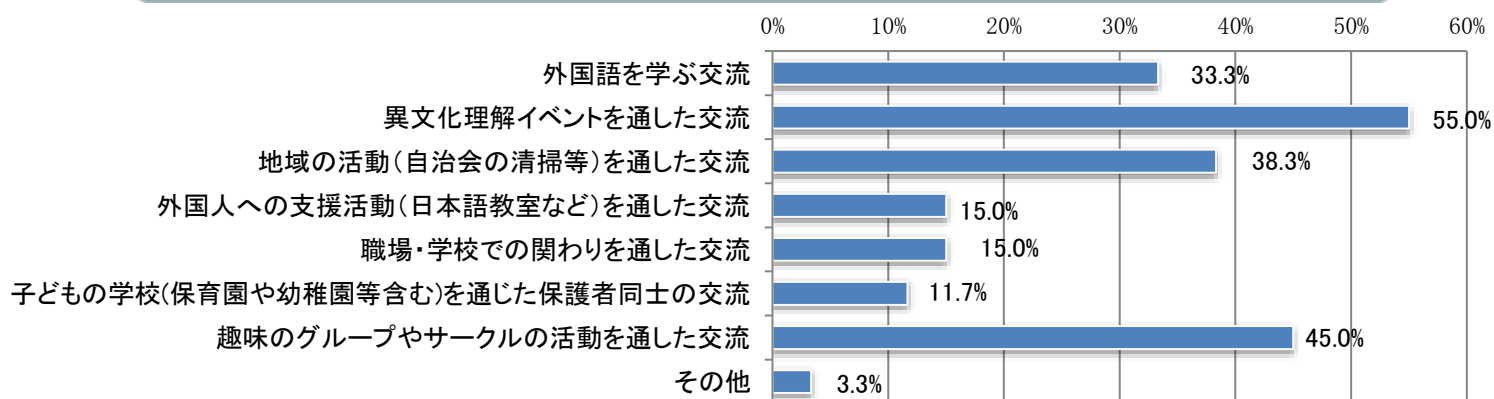
Q 5 - 1 あなたは、地域に暮らす外国人と交流したいですか。(1つのみ)



(n=78)

選択肢	人数	%
1.積極的に交流したい	3	3.8
2.機会があれば交流したい	57	73.1
3.あまり交流したくない	9	11.5
4.交流したくない	2	2.6
5.わからない	7	9.0
計	78	100.0

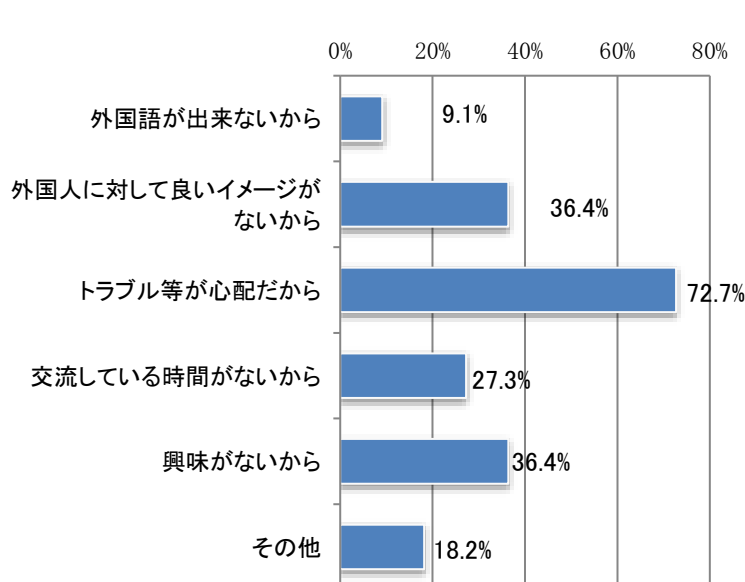
**Q5-2 《Q5-1で1、2を選択された方》外国人とどのような交流をしたいですか。
(3つまで)**



(n=60)

選択肢	人数	%
1.外国語を学ぶ交流	20	33.3
2.異文化理解イベントを通じた交流	33	55.0
3.地域の活動(自治会の清掃、祭りなど)を通じた交流	23	38.3
4.外国人への支援活動(日本語教室など)を通じた交流	9	15.0
5.職場・学校での関わりを通じた交流	9	15.0
6.子どもの学校(保育園や幼稚園等を含む)を通じた保護者同士の交流	7	11.7
7.趣味のグループやサークルの活動を通じた交流	27	45.0
8.その他	2	3.3

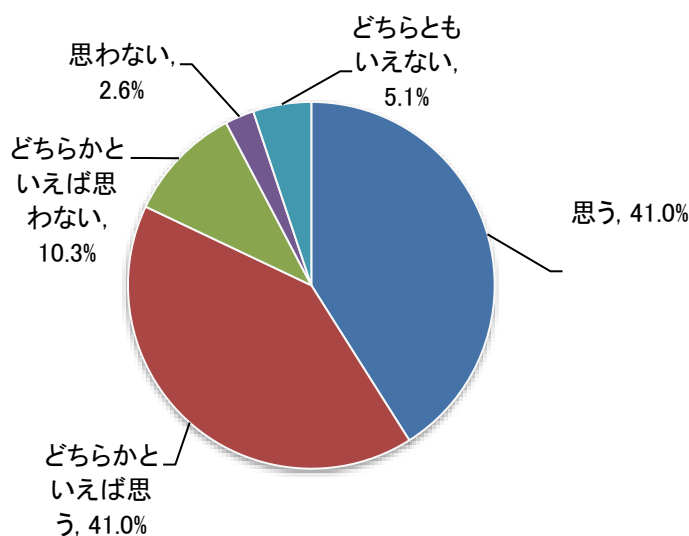
**Q5-3 《Q5-1で3、4を選択された方》外国人と交流したくない理由は何ですか。
(あてはまるものすべて)**



(n=11)

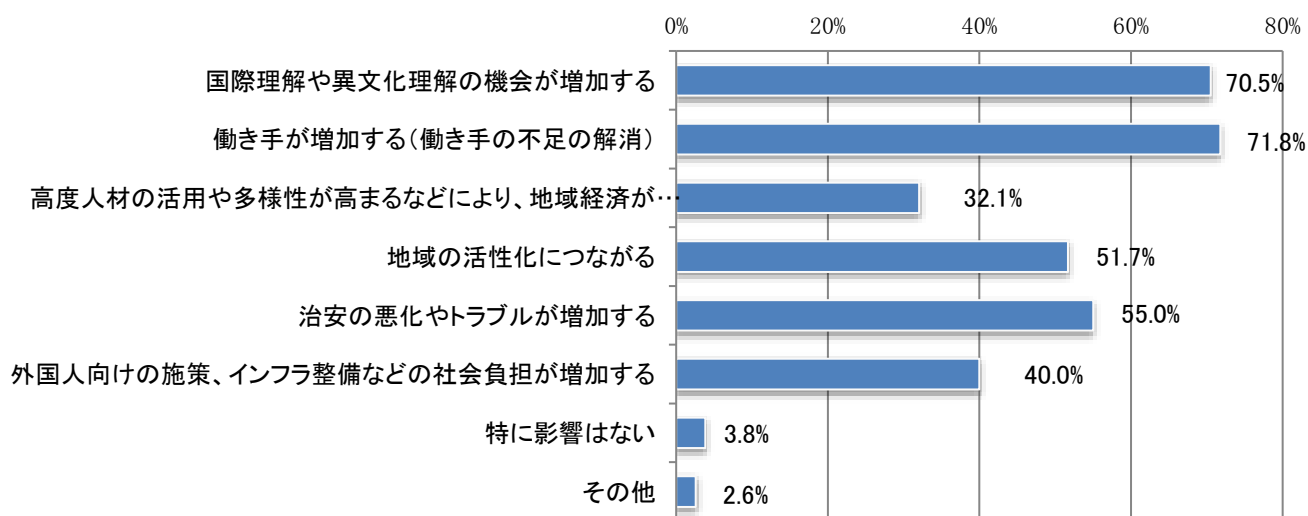
選択肢	人数	%
1.外国語が出来ないから	1	9.1
2.外国人に対して良いイメージがないから	4	36.4
3.トラブル等が心配だから	8	72.7
4.交流している時間がないから	3	27.3
5.興味がないから	4	36.4
6.その他	2	18.2

Q6 あなたは、山口県において外国人の受入れ・共生を推進することについて、重要だとおもいますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
1.思う	32	41.0
2.どちらかといえば思う	32	41.0
3.どちらかといえば思わない	8	10.3
4.思わない	2	2.6
5.どちらともいえない	4	5.1
計	78	100.0

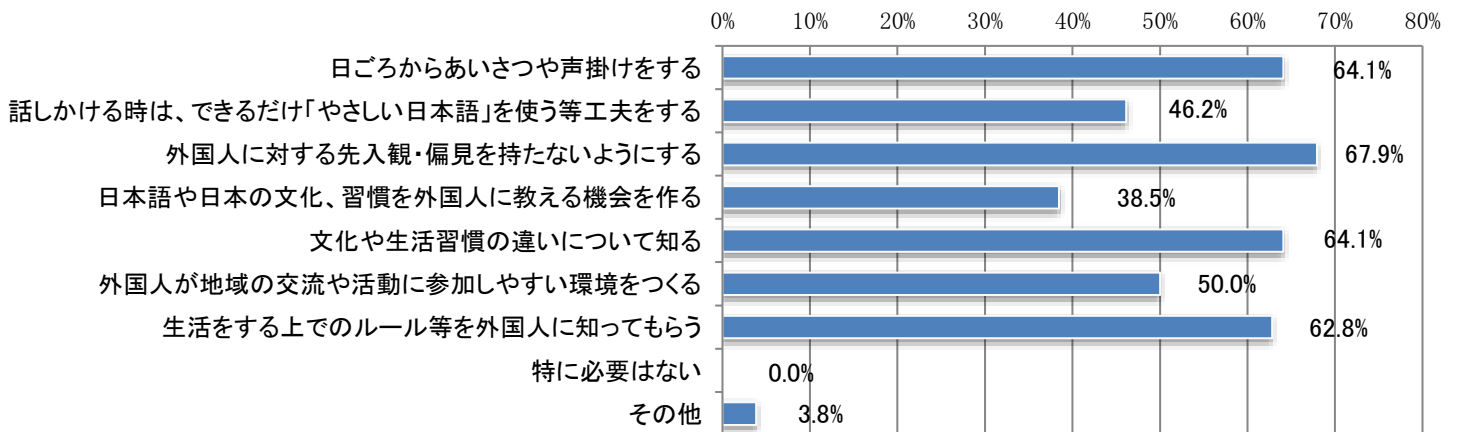
Q7 あなたは、山口県において外国人が増えることについて、どのような影響があると思いますか。(あてはまるものすべて)



(n=78)

選択肢	人数	%
1.国際理解や異文化理解の機会が増加する	55	70.5
2.働き手が増加する(働き手の不足の解消)	56	71.8
3.高度人材(専門的な技術や知識を有する外国人)の活用や多様性が高まるなどにより、地域経済が発展する	25	32.1
4.地域の活性化につながる	31	51.7
5.治安の悪化やトラブルが増加する	33	55.0
6.外国人向けの施策、インフラ整備などの社会的負担が増加する	24	40.0
7.特に影響はない	3	3.8

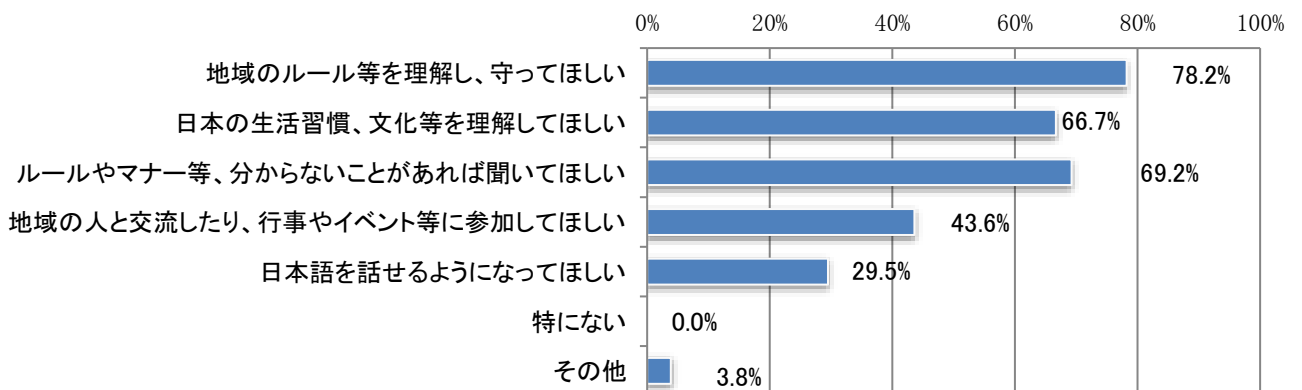
Q 8 日本人と外国人がお互いを尊重し、共に安心して暮らせる山口県にするために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべて)



(n=78)

選択肢	人数	%
1.日ごろからあいさつや声掛けをする	50	64.1
2.話しかける時は、できるだけ「やさしい日本語」を使う等工夫をする	36	46.2
3.外国人に対する先入観・偏見を持たないようにする	53	67.9
4.日本語や日本の文化、習慣を外国人に教える機会を作る	30	38.5
5.文化や生活習慣の違いについて知る	50	64.1
6.外国人が地域の交流や活動に参加しやすい環境をつくる	39	50.0
7.生活をする上でのルール等を外国人に知ってもらう	49	62.8
8.特に必要はない	0	0.0
9.その他	3	3.8

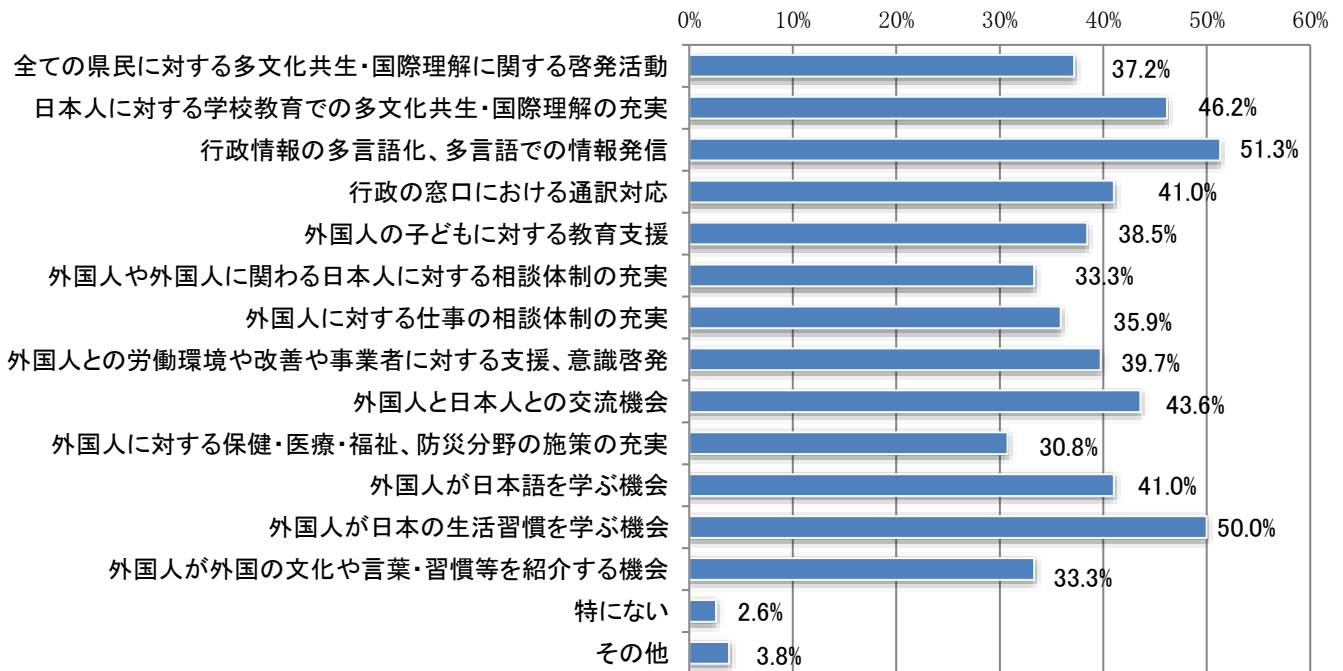
Q 9 日本人と外国人がお互いを尊重し、共に安心して暮らせる山口県にするために、外国人にはどのようなことを希望しますか。(あてはまるものすべて)



(n=78)

選択肢	人数	%
1.地域のルール等を理解し、守ってほしい	61	78.2
2.日本の生活習慣、文化等を理解してほしい	52	66.7
3.ルールやマナー等、分からないことがあれば聞いてほしい	54	69.2
4.地域の人と交流したり、行事やイベント等に参加してほしい	34	43.6
5.日本語を話せるようになってほしい	23	29.5
6.特に必要はない	0	0.0
7.その他	3	3.8

Q10 多文化共生の地域づくりを推進するため、山口県や県内市町などの行政はどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。(あてはまるものすべて)



(n=78)

選択肢	人数	%
1.全ての県民に対する多文化共生・国際理解に関する啓発活動	29	37.2
2.日本人に対する学校教育での多文化共生・国際理解の充実	36	46.2
3.行政情報の多言語化、多言語(やさしい日本語含む。)での情報発信	40	51.3
4.行政の窓口における通訳対応	32	41.0
5.外国人の子どもに対する教育支援	30	38.5
6.外国人や外国人に関わる日本人に対する相談体制の充実	26	33.3
7.外国人に対する仕事の相談体制の充実	28	35.9
8.外国人の労働環境の改善や事業者に対する支援、意識啓発	31	39.7
9.外国人と日本人との交流機会	34	43.6
10.外国人に対する保健・医療・福祉、防災分野の施策の充実(多言語化等)	24	30.8
11.外国人が日本語を学ぶ機会	32	41.0
12.外国人が日本の生活習慣を学ぶ機会	39	50.0
13.外国人が外国の文化や言葉・習慣等を紹介する機会	26	33.3
14.特にない	2	2.6
15.その他	3	3.8

Q11 その他、山口県における多文化共生の推進について、ご意見等がありましたら、お聞かせください。(自由記入)

省略